

DEPARTMENT OF MOLECULAR MEDICINAL CHEMISTRY

分子創薬化学研究室

2017. 4



ORGANIC CHEMISTRY

教授
佐野 茂樹
Shigeki SANO

Members of Our Lab.



2017-04-14撮影
分子創薬化学研究室にて

助教
中尾 允泰
Michiyasu NAKAO

分子創薬化学研究室では「ヘテロ原子の特性を活用する新反応および機能性分子の開発と創薬への応用」を研究課題の柱とし、薬学としての独自性と学際性を備えた有機化学的研究の世界レベルでの展開を目指し、次のようなテーマに取り組んでいます。

- 1) ジケトピペラジンの分子構造特性に基づく機能性分子の創製
- 2) 有機分子触媒による環状炭酸エステル類の不斉開環反応の開発
- 3) HWE反応を鍵反応とするグリセロリン脂質合成法の開発
- 4) ヘテロ環化合物合成を基盤とする医薬品素材の探索
- 5) OPA法を基盤とする安定型イソインドールの創製

The main concern of this department is "development of new reactions, functional molecular devices, and new candidate compounds for drugs".

研究室の情報はホームページ（「分子創薬化学」で検索、またはQRコードで！）に掲載しています。詳細についてのご質問等は、研究室（6階東）をお訪ね下さい。



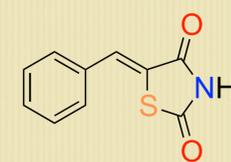
Key Compounds



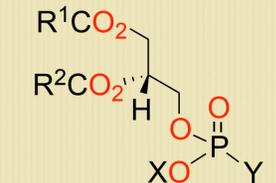
diketopiperazine



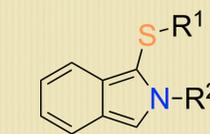
bis-lactim ether



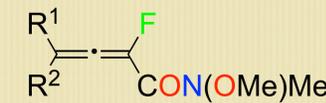
thiazolidine-2,4-dione



glycerophospholipid



isoindole



fluorinated allene

平成28年度修士論文

- ・戸口 宗尚 「アレニルエステルを基盤とする新規チア-マイケル/アルドール型反応の開発研究」
- ・仲村 明人 「光学活性グリセロール誘導体が示す比旋光度の濃度依存性に関する有機化学的研究」

平成28年度卒業論文（薬学科）

- ・杉村 聡 「ジケトピペラジン誘導体および関連化合物の合成研究」
- ・錦織 菜々子 「OPA法を基盤とする安定型イソインドール誘導体の合成研究」
- ・藤原 亮 「Pimキナーゼ阻害活性を有する5-ベンジリデンチアゾリジン-2,4-ジオン類の合成研究」

技術補佐員

竹内 菜穂子
Nahoko TAKEUCHI

学部 薬学科 4名
創製薬科学科 3名
大学院 博士前期課程 4名
博士後期課程 3名

平成28年度卒業論文（創製薬科学科）

- ・岸本 采乃 「第一級アミノ基を有するジケトピペラジン型不斉有機触媒の合成開発研究」
- ・島袋 友岐 「不斉有機触媒の創製を指向した光学活性ピペラジノン誘導体の合成研究」
- ・関 和雅 「N-ヘテロ環状カルベンを用いる混合ホスホン酸エステルの合成研究」

Key Words 機能性分子 創薬化学
高選択的反応